

吸い取られる日本

日本の少子高齢化や人口減少で労働力や消費が落ち、このままでは社会は活力を失い、経済は縮小の恐れもあります。バブル崩壊後、日本企業は激動の嵐に翻弄されてなすすべもなく二十年以上漂流を続けています。圧倒的な競争力を持ち、メイド・イン・ジャパンでなくては嫌だといわれた電機製品なども、韓国や中国

勢の攻勢の下で押されっぱなしです、なぜ、ここまで短期間に凋落したのかを考えると、経済や技術を取り巻く大きな歴史の変化を見逃せません。

16世紀以来、400年に一回の大変化と著書（榊原英資）で指摘されておられます。

榊原氏は、アメリカでかつてない長期の大不況が始まったと考えています。この大不況は、ヨーロッパや日本経済にも深刻な影響を及ぼし始めています。だから「世界同時不況」が始まったと見るべきだ、というのが彼の認識です。

確かに世界金融危機で各国の経済は大きく落ち込んだものの、懸念されていた1929年の世界大恐慌のような大破局はなかった。だから、世界経済はゆっくり回復しつつある、と思うかもしれせん。

菅の八百長

しかし、一時的に上向いたり下向いたりする小状況を含む、世界同時不況という大状況が始まったと考えるべきだと。これが続く期間は、少なくとも3〜4年、おそらくは10年か、さらに長いでしょう。と著者は指摘されています。



へ。日本が復興から経済大国へ。日本が成長した大きな源のひとつが企業の躍進。まさに「日本力」企業力。ところが今、その定義が崩壊しつつあります。それをあらわす世界ランキングが「2010年末の世界時価総額ランキング」。世界で企業の勢力図がわかるランキングです。

今年1月に発表されたこのランキングで日本の企業で最上位の企業は、トヨタの34位です。この凋落のスピードは政権

戦後の復興から経済大国

企業の余剰資金（キャッシュ

韓国にパチンコはありません。すべて廃止したので

業者は在日経営で儲けたお金は朝鮮・朝鮮総連等に行き結果的に北朝鮮等にジャ

当然に警察と政権の利権、癒着はない？。

パチンコと日本

パチンコ中毒の汚染は、覚醒剤を超える悲惨な害毒を国内に流し続けています。日本のほとんどのパチンコ

パンマナーが行くと聞き。雑誌によると30万人の失業・パチンコ関連の上場企業の倒産・色々と経済が

フロー）がGNPの5%、20兆円もあります。さらにです菅政権は法人税を5%減税し、雇用の確保を唄っています。ド素人の政策です。行き場のない資金が国内に超たぶつき、当然投資先は効率を求めて殆どが国外に流れます。日本の産業を潰す超円高が進行するのに時間がかからないのです。

対中戦略の米国による米国のためのTPPに簡単にすりより、トップが第三の「開国」と叫ぶプロバガンダに踊らされてはならない、八百長です。彼は国民を騙す「小泉平蔵」のコピー。悲惨なのは何も分らないトップ「空き菅」です。

日本の不幸は、米国と距離を取らない政策は、さらなる敗戦を彷彿させるものです。

崩壊す？。

例えばシャープはパチンコとパチスロに搭載されている液晶だけで今年300億稼いだそうです。石川県のナナオも同じです。大手のオムロンも2割がパチンコ収入だそうです。即ち、財務省官僚の権力源は情報（税務）なのです。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2011年2月28日(月) NO 172

地域から明るい未来を作ろう